

住職の写真日記より【令和4年7月】

7月に入りましたが、暑かったり涼しかったりとずいぶん寒暖差が大きかったような感じでした。夏祭りも3年ぶりに行われ、街にはたくさんの方が出ていましたね。今月は、息子、妹、娘と入れ替わりで帰省して、とても賑やかでした。お盆参りの時期になりました。



1日 純正、帰省

大学の単位も卒論だけで講義もないので、4日間だけの短い帰省。ほとんど家にはいませんでしたけど。



4日 新聞から削除？

よく見る電話マーク。今の人はこれが何だか分からないそうです。確かに実物の黒電話すら見ませんよね。



8日 ショックでした

まさか、こんな事が日本で起きるとは。新聞によれば、安倍さんは世界の首脳が認める政治家だったとか。



14日 千葉の妹、帰省

昨年の報恩講以来です。帰省中は、母の部屋の片付けをしていて、しっかりきれいになりました。



16日 BSお泊まり会

久々の開催。本堂で朝のお勤め。ほとんどのスカウトが初めてだったようです。短いお話もいたしました。



21日 60年前の物です

母の部屋から私、弟、妹の母子手帳が出てきました。よく取ってあったなああとビックリ。さっそく弟妹にも送りました。



22日 菜々子、帰省

休暇を取って1週間ほど居ました。東京での仕事は忙しいようで、家ではのんびりと過ごしていましたね。



23日 福島保養受入れ

コロナ前までは毎年受け入れてました。今回は2家族が保養に来られました。保養初日には歓迎会を開催。



24日 法衣靴買いました

足袋を履いたままでも、脱ぎ履きしやすい靴。滑り止めも施されて、かなり売れているそうです。とてもいいですね。

坊守の独り言

6月に初めて広島県に行ってきました。3月下旬に、広島県のお寺のご住職が54歳の若さでお亡くなりになり、そのお悔やみに伺いました。まだ小学生と幼稚園という幼い子どもさんを残してお別れでしたので、ご家族、ご門徒、ご友人も悲しみがとても深いものでした。帰り際、坊守さまよりご住職のミニ法話集を頂戴しました。その法話がとても分かりやすく、温かな文章でしたので少しだけ皆さんにご紹介しますね。

★『仏法が「わかる」のは無理でも「あじわう」ことが出来そうで、説くのは無理でも自分の「あじわい」を伝えることは出来るかもと』

★『音楽などの芸術や宗教は、すぐに何かの役に立つようなものではありませんし、無いからと言って、たちまち生活に困るわけではないので不要不急なものかもしれません。しかし、長い目で見ると不要なものではもちろん無く、こうゆうものを残せる社会の方が人に対しても寛容で、どんな人でも生きやすいものだと思うのです』

今年のお盆は新盆ですね。新盆のお供えに千歳の美味しい品を送ります。ガンジーさん、出逢いに感謝。